

急性期成人看護学実習	4 年・前期	3 単位	教授 千明 政好 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210673

1. 授業のねらい・概要

本科目は、実習病院で患者を受け持ち、看護過程を展開する能力を養う。具体的には、生命の危機状況や生命力の急激な変化が予測される対象と家族の特性ならびにその病態生理的、状況的、治療的関連因子を理解する。その上で生命の維持、苦痛の緩和、日常性の回復、生活機能の回復に向けて、対象の成長・発達、適応を促進させるための看護を実践する能力を習得する。実習の後半には、複数の患者を受持ち、限定された時間の中での看護ケアの優先順位のアセスメントを学び実践する（統合実習 1 単位を兼ねる）。また、手術室、集中治療室、一般病棟等対象の生活の場の変化あるいは健康レベルの変化に対応した看護の実践について学ぶ。

2. 到達目標

1. 対象を身体的、心理的、社会的側面および、病態生理的、状況的、治療的関連因子から総合的に理解できる。
2. 急性期の患者の健康上の問題に対して、生命の維持、苦痛の緩和、日常性の回復、生活機能の回復に向けて、対象に応じた援助を計画、実施、評価できる。
3. 複数の受け持ち患者の看護ケアの優先順位のアセスメントを行い、必要な看護が実践できる。
4. 患者および家族との人間関係の成立と維持に必要な方法を習得できる。
5. 対象の権利擁護や倫理的配慮について説明と実践ができる。
6. 保健医療チームの一員であることを自覚し、責任ある行動ができる。

3. 授業の進め方

実習病院において学生は患者を受け持って実習を行う。受け持ち患者は基本的に、実習病棟学生指導担当者との協議によって選定される。患者の承諾が得られた後、教員と学生が話し合い、最終的に受け持ち患者を決定し、看護過程を展開する。

4. 授業計画

1. 実習期間：4 年前期の計 4 週間
2. 実習施設：前橋赤十字病院 群馬県立心臓血管センター
伊勢崎市民病院 済生会前橋病院予定。
3. 実習内容：健康障害をもつ急性期・周手術期の患者 1～2 名を受け持ち、看護過程に沿った看護の展開および基礎看護技術を実践する。実習後半には複数患者を受持ち、優先度を考慮した看護の展開および基礎看護技術を学習する。
4. 方法その他詳細は成人看護学実習要項を参照のこと。
5. 担当教員：千明政好、片貝智恵、片桐貴子、神田千春、今井彩他

5. 成績評価の方法・基準

実習全般（課題、実習への取り組み方、実習内容、実習記録）80%、実習に必要な知識評価 20%、により総合的に評価する。実習に必要な知識面の評価は、実習期間中（前または後）に実施する。実習と知識評価それぞれ 60%以上得点すること。

6. テキスト・参考文献

教科書：必要に応じて適宜指示するが、実習に関連する内容のものを、既購入済のテキストから各自選択し活用すること。

参考書：必要に応じて適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

必要と思われる既習技術と知識について予習及び授業内容について 10 時間以上の予習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項（先修条件がある場合は 8. に記入する）

知識及び技術に関して十分に準備して臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。ただし、実習記録は廃棄するため返却しない。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。